

普及活動情勢報告（令和2年3月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

私たちもナスの勉強！ ～穴内支部園芸部研究会女性部会～



うちのハウスとどう違うかねえ？

2月13日、農業改良普及課はJAと協同で穴内支部園芸部研究会女性部会を対象にナス勉強会を開催し、16人の女性生産者が出席しました。

今回の勉強会は、安芸市穴内地区と芸西村の環境制御機器導入ほ場と安芸市サポートハウスの計3ほ場で視察研修を行いました。

出席者からは、「普段自分のハウス以外を見る機会がないから勉強になるねえ！」と、環境制御技術のみならず栽培品種の特性や施肥の方法など活発な質疑や意見交換が行われました。また「そのまま地面に置くよりも良いねえ！」と、ハウスの柱に設置されたハチの巣箱置場に関心が寄せられる場面もありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、女性生産者の活動を支援します。

どうやって黒枯病を防ごうかね ～安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会営農相談日～



聞き取り調査を行う
普及指導員（左）

農業改良普及課は、JA営農指導員とともに安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会を対象に、出荷に訪れた生産者に対して毎月1回、営農相談を開催しています。

2月の営農相談と合わせて50人にナス黒枯病の防除方法についてアンケートによる聞き取り調査を実施しました。

生産者各々の黒枯病対策がある中で、「栽培暦に基づくローテーション散布」が全体の86%と、最も実施率が高いことが分かりました。このことから生産者が薬剤選択を行う上で栽培暦を参考にしていることや感受性低下をさせないような薬剤選択を実施していることが明らかになりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、黒枯病を中心とした病害対策を指導し、生産者の所得向上に努めます。

ユズのせん定方法の基本を学ぼう！！ ～JA高知県安芸地区のユズ講座～



そういう形にするんやね～

2月23日、JA高知県安芸地区管内の主に仕事の都合で平日の講習会等に参加できない生産者を対象に「ユズ講座」が開催され、30人が参加しました。

農業改良普及課は、講師としてせん定の基礎について講習しました。

参加した生産者からは、「今までよくわからずにせん定していたので講習を受けてよかった」といった声が聞かれ、早速講習内容を参考に実践に向けて意気込んでいました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力して、日本一のユズ産地の維持発展を目指して、産地全体のレベルアップに向けて支援します。

ユズのせん定方法のポイント教えます!!

～JA馬路村のユズせん定講習会～



こうやって低くしてください

2月25日、JA馬路村管内でユズのせん定講習会を開催し、7人が参加しました。

農業改良普及課は、講師としてせん定について講習しました。

生産者から「樹高を低くしたい」との声が多かったため、低くした場合のメリット、デメリットを説明した上で、「なぜ高くなったのか」、「どのように低くしていくのか（または、新しく作り直すのか）」について説明をしました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力して、日本一のユズ産地の維持発展を目指して、産地全体のレベルアップに向けて支援します。

「ぼたなす」で地域を盛り上げよう!!

～室戸市日南地区の取組～



こんな感じで種まきしてください

2月26日、室戸市日南地区で「ぼたなす」の種まきが例年より早く行われました。

昨年はマスコミでの全国放映で消費者からの問い合わせも多く盛況であったことから、今年は早出しなどによる増産の実証試験に取り組むこととなりました。

農業改良普及課室戸支所は、種まきや育苗について一つ一つ見直しながら指導を行うとともに、これからの栽培計画について生産者と打ち合わせを行いました。「ぼたなす」の収穫は5月中下旬から始まり、キラメッセ室戸の楽市への出品を予定しています。

農業改良普及課室戸支所は、引き続き「ぼたなす」の生産拡大による地域の振興を支援します。

果樹のせん定方法のポイント教えます!!

～JA安芸地区果樹部安芸支部の現地検討会～



この辺りを
せん定してみてください

3月10日、JA安芸地区果樹部安芸支部が現地検討会を開催し、7人が参加しました。

農業改良普及課は、果樹部員が土佐文旦やポンカン、麗紅、スモモなど様々な品目を栽培していることから、各品目に共通する項目を中心に果樹（主にカンキツ）のせん定について資料で説明し、併せて実演を行いました。

部会員からは「あれは?」、「これは?」と次々に質問があり、和気あいあいと活発な意見交換をすることができました。

農業改良普及課は、今後も管内の果樹の産地振興に向けて果樹部の活動を支援します。